

大阪府退教情報

2024年1月22日

発行第47号

発行者:大阪府退職教職員連絡協
議会 代表:林誠子

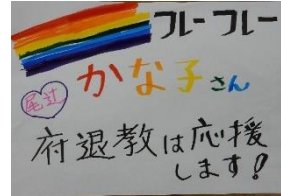
〒543-0021 大阪市天王寺区東
高津町7-11 大阪教組気付

電話 06-6762-7999

府退教は、**おつじ**

尾辻 かな子さん

衆議院選挙予定候補の推薦、応援 **GO!**



府退教は、1月18日の単会代表者会議で、次期衆議院議員選挙の予定候補者である尾辻かな子さんの国政参画への強い決意をお聞きした。これは大阪教組の推薦決定を受け、府退教役員会で推薦決定したことに基づくものです。前衆議院議員の尾辻さんは拍手と「フレイフレーかな子さん!」の声援の中入場。「外は冷たい雨なのに、とても心が温かくなりました」と感謝の言葉を述べ、今回は10区(高槻・島本)からの挑戦予定であること、府退教推薦に感謝した。今回の能登半島地震について「万博を止めて地震の被災支援に回せ」という声も出せない今の政治状況を憂い、「防災・災害への対応は普段のくらしのつながりこそが大きな力になる。高齢女性が多く犠牲になるのは、家賃の安い老朽住宅に住まざるを得ない経済的状况であることもこれまでの災害からわかってきている。こうしたこぼれ落ちがちな声を政治に届けるようこれまでやってきた。これからもそうしたこぼれ落ちがちな声をしっかりと政治に反映させたい」と強い決意を語り、最後に立憲野党がしっかりと政権を交代しなければならない、大阪での教育をチャレンジテストなどでボロボロにした維新を何としても大阪で止めなければならないと呼びかけた。



府退教、能登地震被災者支援カンパ20万円送金

能登地震被災者支援のため、日退教が呼びかけたカンパに会員の皆様からお預かりした20万円を1月12日、日退教に送金したことをご報告いたします。

なお、府退教は会員以外に多様な被災者があるという新たな社会状況を考え、支援先もさらに検討することとしています。加えてその必要性について日退教にも問題提起をしていきます。(文責 林)

交流のひろば

茨木市退教から、文化活動で高齢者の
明るい希望を感じる便りが届きました

No.3

茨木市退教は、春の新退職者歓迎の「お花見の会」(4月)と総会(5月)、夏の学習懇談会と作品展(8月)、秋の鑑賞ツアー(11月)、冬の「望(忘)年の集い」(12月)、「お茶会」(2月)を開催しています。さらに、8つの趣味の会「歴史ウォーキング」、「山へいくかい」、「歌おう・学ぼう・歩こう会」、「着物リメイク」、「ちぎり絵」、「アートを楽しもう」、「リズムサロン」、「ゴルフの会」が活発に活動しています。その中から、昨年の12月に実施した「望(忘)年の集い」を紹介します。

コロナ禍前の集いは、昼食をとりながら、近況報告や歌、プレゼント交換などをして会員相互の親睦・交流を深めてきました。昨年は、より幅ひろい会員の参加と現職教職員との連携を目的に、「講演」と「音楽を中心にした集い」として開催しました。また、ウクライナやガザで起こっていることをふまえ、テーマを「きびしい情勢の中、つながりを忘れず、ほっこり、笑顔で楽しいひとときを」としました。

第1部の講演は、府退教の林誠子会長に「人権が尊重されるジェンダー平等社会をめざして」と題して話していただきました。国連の女性差別撤廃条約(79年)を経て、「男女共同参画基本法」の成立・施行(99年)により、男女が対等な社会の構成員として参画し、ともに責任を負うことが法として位置づけられ、平和と安心・安全のジェンダー平等・人権尊重社会を日本はめざすことになったというお話に参加者は熱心に耳を傾けました。「私やあなたの安心・安全のためのジェンダー平等、みんなが支え支えられることの大切さ」や「善意・配慮でしていることが何の悪意もなく‘排除する効果’をうんでいませんかという言葉にはっとしました」、「非正規問題で女性がいいように使われていることに改めて悔しく思われました」などの感想が寄せられました。

第2部では、会員によるピアノ、チェロ、ギター、カントリーウエスタンの演奏と歌に聞き入りました。また、参加者が懐かしい映像をバックに、これまでの退教活動に思いを馳せながら、「花は咲く」や「さとうきび畑」などを歌いました。最後に恒例のプレゼント交換と一言メッセージの紹介をして終了しました。「皆様、退職後にこの様に生き生きと趣味を広げられ、うらやましく楽しく聴かせて頂きました。何歳からでも好きなことに挑戦できるのだなあ〜。私も〜、と嬉しくなりました。」「いろんな分野の音楽がきけて楽しかったです。それぞれの方が退職されてからもお元気に好きな音楽を楽しまれている様子が励みになりました。プレゼント交換は全員の方のプレゼントが見られてよかったです。」など、今回の企画に対して前向きな感想をたくさん頂きました。

今回の取り組みを土台として、より多くの会員が参加できるような行事をみんなで考えていきたいと思います。(文責 中前) 投稿をお待ちしています。(林)

